

## 不登校・ひきこもり 訪問支援から社会参加へ

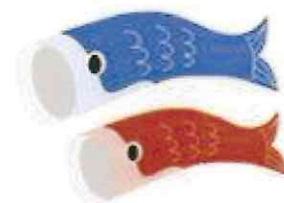
現在、全国の小中高の不登校の数は20万人近くいます。

学校に行きたくてもいけない子どもたち、そしてひきこもってしまった若者たち…

支援につながる事ができずに孤立を深めている当事者やその家族はますます取り残され、深刻化していくことが懸念されます。そのような状況の若者に対する保護者としての関わり方や効果的な訪問支援の利用法を理解し、保護者や支援者が当事者の社会参加に向けて一歩踏み出す方向性を共に考えていきましょう。

### 記

日 時	平成27年5月16日(土) 第1部 10時～12時30分(受付 9:30～) 第2部 13時30分～
会 場	大分市植田公民館 2F 会議室 (大分市大字玉沢 789 番地) 【アクセス】 植田市民行政センターバス停 徒歩1分 トキハわさだタウン 徒歩5分
内 容	第1部 講演① ひきこもり状況における家族間の構造と関わり方・訪問支援の効果性について 講師:NPO 法人青少年自立援助センター 常務理事 河野久忠 講演② NPO 法人自立援助センターにおける就労支援の実践 講師:NPO 法人青少年自立援助センター 事業運営部長 菅野周平 質疑応答  第2部 個別相談 担当:NPO 法人青少年自立援助センター (別途申し込みが必要です。詳細は裏面をご覧ください)
対 象	保護者、支援者、教育関係者、一般 (どなたでもご入場いただけます)
参加費	無 料



共催 NPO 法人青少年自立援助センター、NPO 法人大分ステップの会(ひきこもり 親の会)、チャイルドラインおおいた、ぱすたの会(おおいた「非行」と向き合う親たちの会)  
協力 少年問題を考える会  
後援 大分市、(公財)ハイパーネットワーク社会研究所

NPO 法人青少年自立援助センター：東京都福生において約40年前に私塾「タメ塾」として始まり、現在ではNPO 法人として厚労省の委託事業なども含め、医療・福祉と労働の行政サービスの挟間を埋める形で自立に困難を抱える若者に対して訪問支援や宿泊型支援などを行っています。

NPO 法人大分ステップの会：2003年4月に、ひきこもりの子どもを抱える親たちが、先ず自らが元気になること、そしてひきこもりという状態に陥った子どもを理解することを願って設立した自助グループ。会員同士が月例会や懇談会に集って情報交換や学習会をします。

チャイルドラインおおいた：18さいまでの子どもがかける子ども専用電話です。

☆一本の電話でつながる「子どもの心の居場所」です ☆子どものありのままを受け入れ一緒に考えます  
☆子どもの声を社会に発信します

ばすたの会(おおいた「非行」と向き合う親たちの会)：「子どもの問題行動に向き合おう」、「親の『元気』が子どもの立ち直りにつながる」と、子どもの『非行』に悩む親が安心して集い、語れる場づくりをしています。会の名称にある「親たち」とは、子どもの育成環境としての大人たち全てを指しています。

### —— 個別相談 申込み欄 ——

相談に来られるのは  当事者  御家族

当事者の年齢は  6～18歳  19～20代  30代  40代  その他

ご連絡先(ハンドルネーム可)

お名前 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

#### ○個別相談について:

ひきこもりの状況は個々に異なりますので個別の相談により状況を整理するとともに、一步前進に向けた方法を一緒に考えさせていただきます。

今回は当事者またはご家族の方に限らせていただきます。なお、相談の進行状況により、お待たせする場合がございます。なにとぞ、ご理解の上、ご了承ください。

- ※ 勝手ながら対応時間の制約がありますので個別相談は、先着6組までとさせていただきます。
- ※ 申込み欄の必要事項に記入の上 FAX または同様の内容をメールにてお申込みください。
- ※ 相談の可否につきましては、いただいたお電話番号あて、ご連絡いたします。なお、全ての作業をボランティアで行います関係上、お返事が遅くなることがございますのでご了承ください。
- ※ いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理し、本講演会に関する連絡のみに利用いたします。

FAX 送付先 097-544-5938

問い合わせ先 Email futoukou.navi@gmail.com